

防災 防災ワークショップを終えて

一芥見東自治会連合会厚生部会理事・橋本 昭弘
6月19日(日)午前10時より、芥見東小学校体育館に於いて防災ワークショップ(グループ討議)を開催しました。新型コロナウイルス感染防止対策として3密を避けるため、午前の部、午後の部の2部に分けて行い、各支部より自治会長、見守り愛チームリーダー合わせて134名に参加していただきました。



芥見東自主防災隊の山田隊長の挨拶後、5~6人のグループに分かれ討議に入りました。ワークショップの指導、進行を岐阜大学学生保安消防隊の5名の皆さんで行っていただきました。防災クイズ、減災教室、各グループの発表、まとめを行いました。

発表の中でこれまでは地震が起きた場合の飲料水、食料品などの備蓄は最低3日程度とされていましたが、南海トラフ地震が起きた場合は被害が広範囲にわたると想定されるため、7日分の備蓄が必要であることがわかりました。また、グループの方からさっそく家に帰ったら家族と話し合い、実行したいと言う提案が印象に残っています。



地震は突然起こるので、日常からの備えがどれだけ出来ているかが大切です。日常の対策として、家の耐震化、家具の固定、防災用品、非常食等の備蓄に取り組み、地震発生時に適切な行動をとりましょう。

今一度、防災についてご家族で話し合い再認識して頂きたいと思います。 □■

女性防火 団地と私と女性防火クラブ

一芥見東女性防火クラブ・田上さん

長女が誕生してすぐに大洞緑団地に引っ越してきました。近所には同世代の子どもさんも沢山いて、部屋も満室の状態でした。それから40数年経った現在、世帯数も半分になり少子高齢化となりました。

高齢者が多くなった今、自分たちの地域を自分たちで守っていくことができるお手伝いが何かしらあればと

思っていた時に、女性防火クラブの役員になりました。最初は何をやるのかとドキドキしましたが、特別に難しい事をするのではなく、誰にでも出来る事で安心しました。

一人一人のパフォーマンスではなく、皆で協力し合って課題をクリアしていくので、皆さんの御協力をお願いします。一年間頑張って努力した事は無駄にはならず、何かしら身につけて残っていきますので、皆で頑張ってください。 □■

支部だより 北山地区の役に立つように

一北山支部長・井澤 浩一さん

支部長を2年務めておりますが、2年目になって北山の様々な問題が見えてきたように感じています。高齢者宅の増加、公民館の維持管理、地域のコミュニケーション、地域の美化運動等々と色々あります。それでも一つずつ役員はじめ皆様の協力にて対処している現在の様子です。

「グラウンドゴルフ大会」を子ども会と寿楽会の協力で実行出来ました。「公民館トイレのバリアフリー化」の工事が出来ました。「山田川の草刈」も協力によって実行しました。(但し、11月頃迄継続が必要です)今後も、子ども会と高齢者の交歓会・自治会内の班編成の見直し、防災訓練の実施方法、自治会規約の見直し等々を進めていきます。

何はともあれ、北山地区の役に少しでも立つように今期を頑張っていこうと思っています。至らない支部長ですが、皆様のご協力を宜しくお願い致します。 □■

保健センター がん検診を受けましょう

一中保健センター(東部地区担当)・古澤 敏美さん

皆さんは「がん検診」を受けていますか? 昨年の全国のがん検診受診者数は、コロナ流行前より1割ほど少なく、コロナ禍の影響は続いていると言われています。厚生労働省は、がん検診は不要不急ではなく必要な外出として受診を奨励しています。自覚症状のない早期に発見するために定期的に「がん検診」を受診することが大切です。詳細は「令和4年度がん・結核検診のご案内」や広報ぎふ、ホームページなどでご確認ください

なお、ふれあい保健センターに常駐していた保健師は令和4年4月より中保健センターに拠点を移しております。 □■

配布
大洞 4-51
東山 4-49
北山 38-335
三北 5-81
桜台 23-288
桜市 1棟18
2棟16
3棟17
4棟21
5棟15
6棟22
8棟15
11棟13
25棟8
145
柏台 31-284
14棟 4-20
15棟 4-14
桐丘 23-163
桐市 19&20棟 6-23
紅葉 20-217
紅市 16-50
合計 212-1720

防犯パトロール ～あれから15年～

一芥見東防犯パトロール隊隊長・吉澤 頼宣さん
 今から21年前の平成13年に大阪の池田小学校にて児童8人が殺害される惨い事案が発生しました。そこで当地域の青少年育成市民会議が立ち上がり、平成16年に「芥見東良くし隊」を結成し、派手なオレンジ色のブルゾンを着用して児童、生徒の登下校時や散歩、買い物、犬の散歩、庭先花壇の水やりなどの際に見守るための会です。当初は32名から80名程の参加がありましたが、御多分に漏れず18年経った現在では芥見東・南地域で活動される方が10数名となっていました。何とか存続したいと思いますが、例えばPTA OB、子ども会OBの若い方などの参加を希望します。



又、芥見東防犯パトロール隊は15年前の平成19年に岐阜中署管内で2番目に自治会連合会の下部団体として発足し、各種団体の皆様のご協力により現在まで継続出来ていることに感謝いたします。

パトロール隊の防犯講習会もコロナの影響で3年ぶりに開催することが出来、70名余りの参加を頂きありがとうございました。今後もマスク着用でパトロールカーの窓を



開放して、密を避けるため2名で乗車し実施していきます。

「児童・生徒の見守りクレグレ」も頑張っていきましょう。よろしくお

願います。

この15年間でうれしかった事がありました。5月31日午後4時ごろのパトロール中に、桜台1丁目で下校中の4年生ぐらいの女子児童グループの中の1人がわざわざ歩行を止めて「ごろうさまです」と声をかけてくれました。こちら初めてのことで思わず「有難う気を付けてね」と返答し、パトロール日誌にも記載し、教頭先生にも連絡をしました。本当に感動の1日でした。ここで紹介させていただきました。 □■

体育振興会 ～コロナ禍の行事運営～

一芥見東体育振興会会長・森 修さん
 毎年6月の最初の日曜日に行っていた芥見東小こどもスポーツフェスティバルは、今年は諸般の事情で6月末の開催となり、梅雨の真っ只中、雨もしくは暑さの対応

をしなければとの思いで計画をしましたが、いよいよ差し迫り、最終判断の実施2日前の午前中をむかえ、スマホとテレビの天気予報では、梅雨前線が上がったり下がったりで不安定と伝えており最終的に中止と判断して、小学校、中学校、連合会、社協、各種団体さんへの連絡に追われました。

コロナ以前であれば雨天の場合も外の種目を、体育館内のできるものに変更していたため問題はなかったが、今回は密を防ぐためこの変更が出来ず18回目にして大変残念な結果となりました。

来年度に向けて実施時期、運営方法、種目について各種団体さんとの協議を行い幅広い対応を考えていきたいと思ひます □■

児童センター おもちゃの広場の開催

一東児童センター所長・寛 美香さん

児童センターでは年に1回、おもちゃコンサルタントによる「おもちゃの広場」を開催しております。

未就園のお子さんと保護者を対象に、普段あまり見かけない木製のおもちゃやグッドトイに選ばれたおもちゃで、自由に遊んでいただける活動です。数々の木製のおもちゃは、少しずつ感触や形が違います。並べる・積むなど考えながら遊ぶことができ、親子で楽しめると思ひます。

グッドトイに選ばれたおもちゃは、見るだけでワクワクしてきます。子どもにとっておもちゃは、楽しい遊び道具だけではなく、成長を支える役割を持っていると考



えておりますので、この活動を通して親子で遊ぶことの大切さを伝えていけたらと思ひます。

例年は平日の午前中に開催ですが、今年は10月29日の土曜日を予定しております。お子さんやお孫さんとの参加をお待ちしております。 ■□

自治会だより編集委員よりお詫びと訂正

7月号紙面の身体障害者福祉協会のクイズ記事の中で「白杖SOSシグナル普及啓発シグナル」と記すべきところを誤って「白杖SOSシグナル普及啓発シグナル」と記載しました。ここにお詫びをし、訂正させていただきます。